

令和5年度 日南市立吾田中学校 学校評価

<地域と学校が目標とする教育>

『未来を生きぬく力と心』の育成

<基本方針>

・自ら学ぶ

「学校は自分の成長を実感できる場所」

・他者から学ぶ

「学校は人と人が触れあうことの良さや、大切さを実感できる場所」

・自然から学ぶ

・社会から学ぶ 「学校はふるさとの良さや、ありがたさを実感できる場所」

<本年度重点目標>

I 自己を肯定できる生徒の育成

II 他者を肯定できる生徒の育成

4段階評価

- A 期待以上
- B ほぼ期待通り
- C やや期待を下回る
- D 改善を要する

評価項目	評価指標	具体的な取組（方策）	評価内容	自己評価		委員評価		○ 結果の考察・分析・改善策 及び ◎ 運営委員からの意見
				標別	統合	標別	統合	
自己肯定 自己を肯定できる生徒の育成	○ 「日南市中学生憲章」における5つの行動目標を意識させ、心身ともに調和のとれた中学生を育成する。 ○ 生徒指導及び生徒会のスローガンのもと、生徒に中学校生活の意義、価値、良さを伝える。	【生徒指導の充実】 ○ 生徒指導の機能を生かした教育活動 ○ 自己指導能力の育成 【生徒会活動の充実】 ○ 委員会活動の活性化 ○ 学校行事の充実	1 生徒は「日南市中学生憲章」において行動目標として掲げている「誠」、「尊」、「夢」、「挑」、「律」を意識した行動に努めている。 2 生徒は生徒指導及び生徒会のスローガンのもと、生徒会活動を活発化させ、生徒主体による学校行事（体育大会・文化発表会等）の運営や課題改善に努めている。	B		B		○ 「日南市中学生憲章」の初年度として、可能な限り意識させてきたが、次年度も、事あるごとに取り上げ、意識の高揚を図りたい。生徒会活動は昨年度と比較して、生徒が主体となって意欲的に活動するようになっているので、自治的活動をさらに進めていきたい。 ○ キャリア教育については、4年ぶりに職場体験学習が実施できたことにより、昨年度よりも評価が高く、さらに充実を図りたい。 ◎ 学校評価アンケートの結果は概ね良好といえるが、意識の低い項目については、自己分析と問題解決の機会を設定し、評価を次年度に生かしてほしい。 ◎ 健康教育の充実や体力の向上について、「県の体力づくり優良校」として表彰を受けたことは大変栄誉なことであり、日頃の先生方の努力が垣間見える。
	○ 生徒の実態を把握し、わかる喜びを味わわせるような授業づくりに取り組む。	【学力向上・指導方法の工夫改善】 ○ 学力調査の分析、考察、対策 ○ ICTを活用した授業構築 ○ 相互参観・研究授業の実施 ○ 個別最適・協働的な学びの推進	3 生徒はタブレットなどICTを活用し、興味・関心を持ちながら、自分から学ぼうとしている。	B	B	B		
	○ 進路の実現を目指し、主体的に学ぼうとする態度を育てる。	【キャリア教育の充実】 ○ 進路に関する学習や職場体験学習、体験的な活動の実施 ○ 地域学習の実施	4 生徒はキャリア教育（進路学習・職業学習等）や体験活動（修学旅行・福祉体験・職場体験等）を通して、進路の実現を目指そうとしている。	B		B		
	○ 生徒が自ら創り上げる体育大会や体力向上を目指した活動に取り組む。 ○ 生徒の健康を守る活動を企画し運営する。	【健康教育の充実】 ○ 体育的行事の充実と部活動の活性化 ○ 体力向上プランの活用 ○ 健康づくりへの意識の高揚（感染症対策、フッ化物洗口等）	5 生徒は体育の授業や体育大会・部活動等を通して、体力の向上に努めている。 6 生徒は健康づくり（感染症対策・フッ化物洗口等）の取組を通して自らの健康管理ができる。	B		A		
他者肯定 他者を肯定できる生徒の育成	○ 他の生徒の発表や考えに耳を傾け、共感やそこから学び取ろうとする態度を育てる。 ○ 体育的行事や文化的行事では、生徒が友人と協力し、互いに賞賛し合える活動に取り組む。	【人権教育の充実】 ○ 「吾田中いじめ防止基本方針」をもとにした人権教育の実施 ○ 生徒会活動における取組 ○ 道徳・学級活動の充実 ○ 学校行事（体育大会や文化発表会等）の充実	7 生徒は学校行事（体育大会・文化発表会等）や道徳、学級活動の授業等を通して、豊かな人間関係づくりや思いやりの心を育てている。	B		B		○ 人間関係づくりや思いやりの心を育む教育については、概ね良好の評価を得ることができたが、道徳の時間や学級活動において、さらに心の教育の充実を進めていく必要がある。 ○ 学級通信や諸たよりは定期的に発行しているがマシコミメールやホームページの更新や内容の充実を図る必要がある。 ◎ 学校行事の充実がうかがわれる。北陸の震災を受けて、命の大切さ、思いやりの心の輪を大きくしてほしい。 ◎ 学校行事等の情報の発信は、学校や生徒会・PTAと協力し、生徒や保護者の意見を取り込むことで、さらに魅力的な通信や発信等ができると思われる。
	○ いのちの教育（レインボープラン）を通して、自他のいのちを大切に守り育む態度を育成する。	【いのちの教育の充実】 ○ レインボープランの実施 ○ 「命の大切さを考える日」の設定、講話の実施 ○ 特別支援教育の充実	8 生徒は「いのちの教育」レインボープラン等の学習を通して、他者の意見や考えに共感し、自他のいのちを大切に守り育む態度を育てている。	B	B	B		
	○ 災害を想定した訓練では他者への思いやりの心を持ち、互いに支え合い、安全に避難できる活動に取り組む。	【危機管理】 ○ 交通安全教室の実施 ○ 計画的な避難訓練・安全点検や救命講習法の実施 ○ 自分の命は自分で守ることへの周知徹底	9 生徒は災害を想定した避難訓練等を通して、自分や友人のいのちを守る態度を育てている。	B		B		
	○ 生徒、保護者、地域と連携し、生徒指導及び生徒会のスローガンに向かって協調する活動に取り組む。	【地域との連携】 ○ 学校運営協議会を通して、PDCA評価の実施 ○ 学校だよりや学級通信、諸たより等の発行、ホームページの更新	10 学校は行事等の案内をマシコミメール等で迅速に伝えるとともに学校だよりや学級通信、ホームページ等で、情報の発信に努めている。	B		B		

<校長所見>

今年度は、「日南市中学生憲章」の初年度として、学校経営の重点項目に設定し、5つの行動目標として掲げている、「誠」「尊」「夢」「挑」「律」を意識させ、心身ともに調和のとれた中学生を育成しようとした。また、その取り組みの成果を客観的に把握するために、学校評価の項目にも位置づけた。生徒アンケートにおいては肯定的評価が8割強とある程度の数値を収めているが、より継続的、持続的な取り組みを進めていく必要がある。「他者を肯定できる生徒の育成」については、レインボープランや特設授業等を設定するなど、心の教育を推進してきたが、道徳や学級活動、総合的な学習の時間を計画的に進めることで、他者を思いやる心やいのちの教育の充実を図りたい。